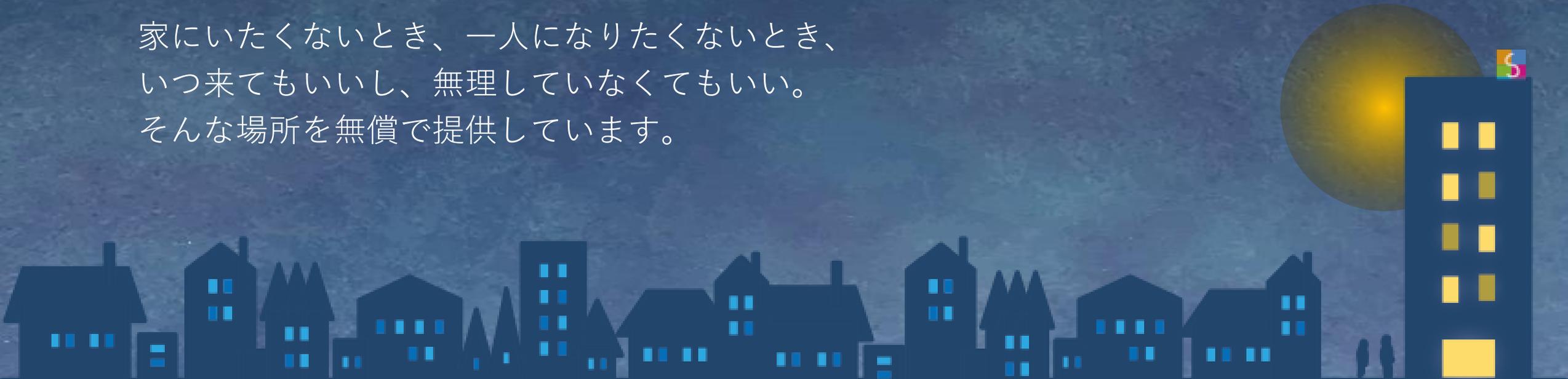


夜の よる の ムースセンター



育て上げネット

家にいたくないとき、一人になりたくないとき、
いつ来てもいいし、無理していなくてもいい。
そんな場所を無償で提供しています。



★ 夜のユースセンター

はじめた きっかけ

「家に帰ると親からアレコレ言われる」
「ひとりになると余計なことを考える」

ギリギリまでいたいという
若者のために**夜の時間にも
利用できる**ようにしよう **!**

現場リーダー ● 阿部渉

実施概要

毎週土曜日18:00～21:00実施

15:00くらいから参加もOK

予約してもしなくてもOK

晩ごはん用の弁当用意
(近隣個店の協力の下)

何をしてもいい・途中帰宅も可

法人支援員からの紹介制

1年間のべ**1,600**人が利用

無料

食事あり・入退場自由

- ① 夕食あります
- ② ゲームあります
- ③ 無料です

毎週土曜日
18:00～21:00

★ 夜のよる ユースセンター

来ているのは こんな若者

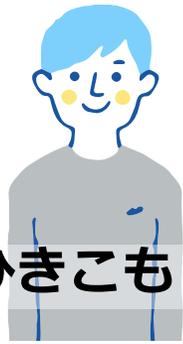
特徴的なタイプを紹介します

下記は一例で、来所している若者像はバラバラです



非行少年

- 元少年院生
- 出院者支援より



ひきこもり

- 昼間は出歩けない
- 保護者支援より



ヤングケアラー

- 幼い弟妹の世話で忙しい
- 高校支援より



ネグレクト

- ひとり親世帯
- 母はほとんど家にいない
- 不登校支援より



困窮者

- 無職で困窮
- 自治体の生活困窮窓口より



OB・OG

- 法人支援の卒業生
- 現在は就労中

★ 夜^{よる}のユースセンター

運営ポイント

無目的性

- 大人の「支援臭」をなくすためには、運営側が目的を作らない
- 夜のユースセンターの利用目的は、若者や子どもたちの側にある

期待に応えようとする姿

- 「あれをやってみたい」「これをしたい」の実現に向けて利用者とともに努力する
- たくさんの地域のひとたちに協力を仰ぐ

年間120名の視察でもっとも
見学者が頭を悩ませるのが成果指標
を持たない**事業思想**

提供側のメニューではなく
利用者側の希望、期待、ニーズを
一緒に実現する**姿勢**



★ 夜^{よる}のユースセンター

運営ポイント

地域ネットワーク

- 教員や公共機関の支援者、地域の方からつながれてくる
- 利用する若者がきょうだいしまいや友人を連れてくる

アウトリーチの場を越えない

- 利用者から「困っている」話が出れば、「支援」につなぐ
※夜のユースセンターでは支援をしない

行政、学校、社会的養護施設
少年院などから紹介されてくる



夜よるのユースセンター

他地域展開
参考資料・別添



○全国9都道府県・10団体が居場所を運営

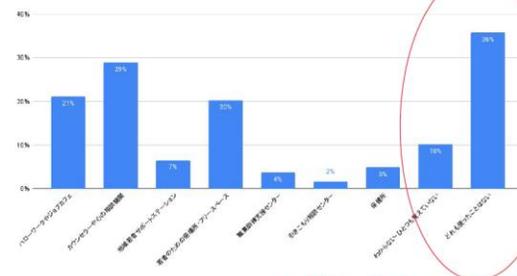
○うち3か所が東京都(新宿区・豊島区・葛飾区)

○週2～5回、主に夕方5時～夜10時までの開所

○主に想定する利用者は「孤立感を抱えた若者(13歳から18歳)」だが、年代や状況による一律の制限は設けず、個別の事情により幅広く受け入れ可能とした

過去の支援場所やサービスの利用経験

Q11: 支援場所やサービスの利用経験

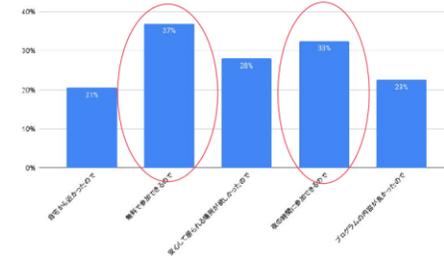


・過去の支援場所やサービスの利用経験については、**46%**が「**使ったことはない・わからない**」と回答

本事業は、過去に行政や民間による支援が「届かなかった」層へのリーチを実現

利用理由

Q2: 参加理由



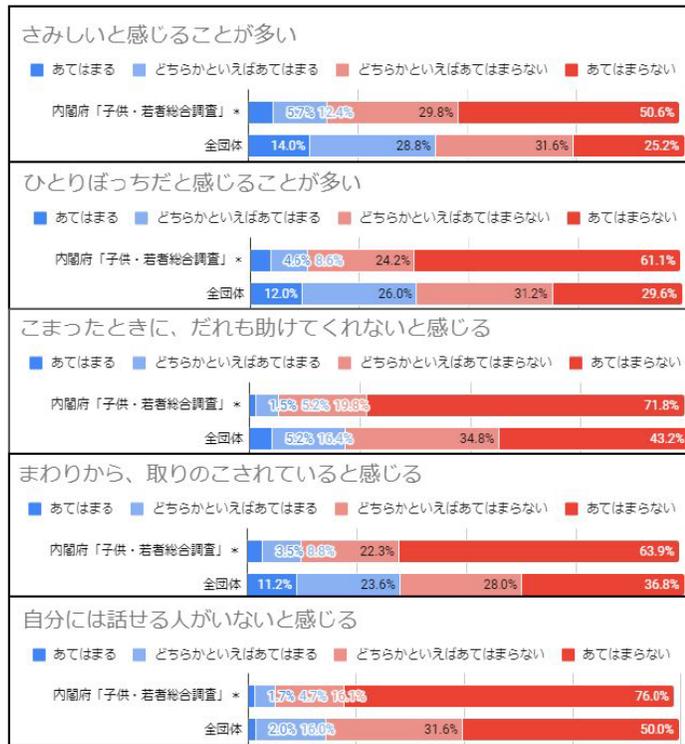
多かった理由は①無料だから(37%)②夜の時間に参加できるから(33%)

無料であること、利用時間が柔軟であることが参加のポイント

夜のユースセンター

他地域展開
参考資料・別添

利用者の孤立感(全国平均との比較)



孤立感を聞く質問では、全国平均(R3年度内閣府「子供・若者調査」と比べて全体的に「とてもはまる・どちらかといえばはまる」を選んでいる利用者が多い(平均の2~3倍)



居場所利用者には
孤立感を抱えた若者が多く含まれる



PT論点

多世代交流・担い手確保

- 夜のユースセンターは、土曜日・夜間帯に運営しているため、平日日中では動きづらいひとたちが足を運びやすく
また、スタッフなどとしても参画しやすい
- 設置目的に「支援」がないため、支援-被支援の関係になりづらい
- 期待・希望・ニーズを満たす際には関係性がよりフラットになりやすい

受援力について

- 利用者は「援助希求」を前提としていない
- 信頼関係が醸成されるなかで、援助希求の話が出てくる
※ただし、夜のユースセンターの枠では支援しない

アウトリーチについて

- 夜のユースセンターには、支援につながっていない、支援機関の利用をしない若者や子どもたちが集っており、アウトリーチの場になっている



認定NPO法人 育て上げネット

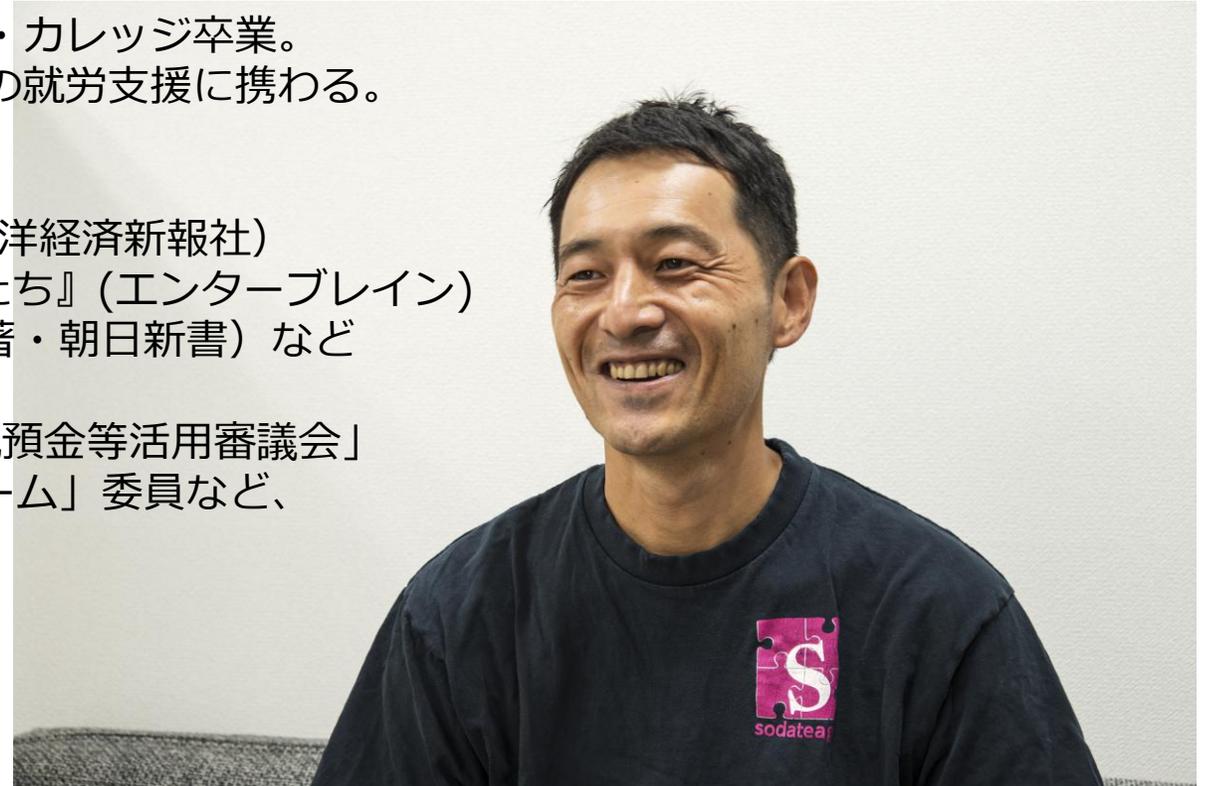
団体概要

自己紹介

工藤 啓（くどう けい）

* 認定NPO法人育て上げネット 理事長

- 1977年、東京生まれ。米ベルビュー・コミュニティー・カレッジ卒業。
2001年に任意団体「育て上げネット」を設立し、若者の就労支援に携わる。
2004年にNPO法人化し、理事長に就任。現在に至る
- 著書に『NPOで働く - 社会の課題を解決する仕事』（東洋経済新報社）
『大卒だって無職になる——“はたらく”につまずく若者たち』（エンターブレイン）
『無業社会 働くことができない若者たちの未来』（共著・朝日新書）など
- 金沢工業大学客員教授。「一億総活躍国民会議」「休眠預金等活用審議会」
「就職氷河期世代支援の推進に向けた全国プラットフォーム」委員など、
内閣府、厚生労働省、文部科学省委員歴任。
- 長男次男、双子の三男四男の父親



さまざまな生きづらさを持つ若者と暮らしをともにしながら自立を支援する家庭に生まれる



ご結婚やご出産などで、涙ながらに退職する大人を見る



海外留学中、若者支援の先進地に視察に行く
↳ ソーシャルインベストメント
↳ 現地の先端事例と家業が類似



若者支援が、安定した「仕事」になるには社会性と事業性の両立が重要で、NPO法人の経営を志す



育て上げネット設立記
<https://note.com/sodateagenet/n/n869ea911f394>

育て上げネットの理念

めざすこと

すべての若者が**自分に合った働く**と**自分に合った生き方**を実現できること

とりくむこと

若者と社会をつなぐ



大切にすること

- ・若者と共創すること
- ・若者支援は社会投資と考えること
- ・社会性と事業性の両立を追求すること

見せる社会

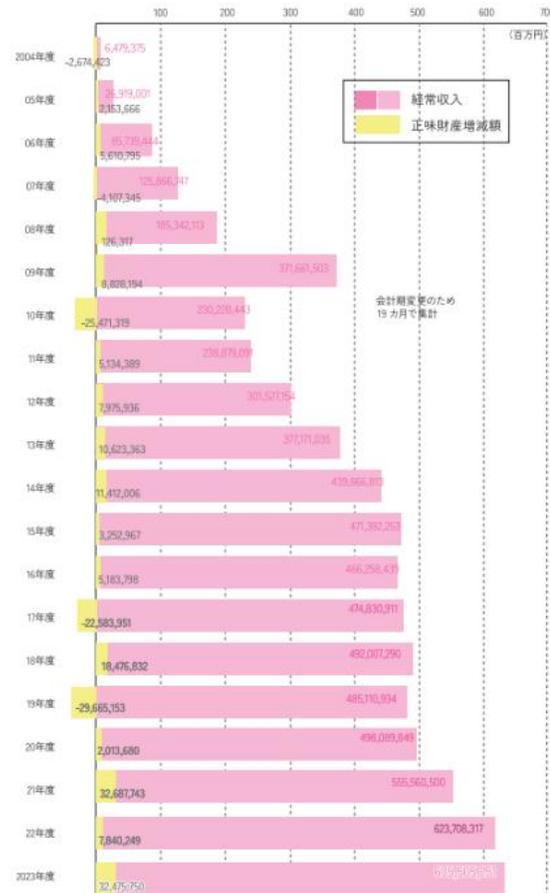
若者ととともに進む社会

財務状況・受益者数

2023-2024



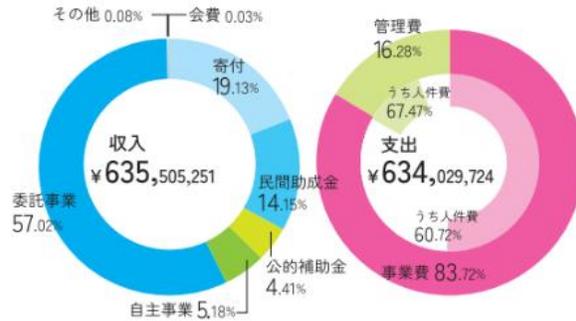
2023~2024年度の経常収入および正味財産増減額の推移



本年度におきましては、新たに海外企業よりご寄付をいただき、また国・地方自治体事業を受託し、収益が635百万円（前年比101.9%）と増収となりました。

支出面では、新たな事業受託等により事務スペースの賃借料や活動費が増加しましたが、最終的に1.5百万円の黒字を確保しました。

2023~2024年度の収入・支出内訳



来年度の会計期（2024年8月1日~2025年7月31日）は従来と変わりませんが、国内外からの企業との協働事業が11月以降の受託が増加しており、収入時期と会計期をまたいで支出時期になってしまっているので、より適正な会計を実施するために会計期の変更をいたします。再来年度は、2025年8月1日~10月31日の3か月を会計期とし、以降毎年11月1日から翌10月31日間を会計期とさせていただきます。ご理解賜りますようお願い申し上げます。

*2009年度は、会計期間変更（定款変更）のため、会計期間が10か月あります。
*当法人の会計は、NPO会計基準に基づくとともに毎月税理士による監査を受け入れ、適切に処理しています。

支援施設



- オンライン・プログラムでは、全国各地からの若者が参加
- 連携する支援拠点は約350施設
- 少年院、高校などの教育施設とは年間約100か所で講座等を実施

2023.8-2024.7(年度)

受益者数 **36,233**人

若者支援事業

若者に提供する就労基礎訓練プログラム



- 2004年の創業以来、ひきこもりや無業のなど、働きづらさを抱える若者への就労支援を実施。
- 行政や企業と連携しながら、年間約2,000名の若者が新規で訪れる。
- 現場で得られた知見をオープンに、政府や行政とのかかわりを通じて法律や政策形成にもつなげている。

教育支援事業



学習支援事業



保護者支援事業



- 予防的な活動として定時制や通信制などの年間約100校の高校と連携して学生を支援
- 生活保護や生活困窮家庭などの小中学生を年間約100名に、学習や生活の支援・体験経験の機会を提供
- 子育てに悩む保護者向けの事業では、日本国内外からの相談を受け、家族を入り口に若者や子どもたちと接点を作っている。

支援メニュー（一部掲載）

●育て上げネットの 支援メニュー for 子ども・若者

※実施内容は各支援メニューの案内ページでご確認ください。また、実施内容や実施時期は予告なく変更される場合があります。

	活動場所	タイプ	費用・条件	在学 状況	雰囲気	頻度 期間制限(目安)	参加方法	専攻 分野	英語 対応	外国人 対応	障がい 者対応	高齢者 対応	その他 対応	その他 対応	その他 対応	その他 対応	その他 対応
子育て支援メニュー 子育て支援メニュー	ジョブトレ	東京都立川市 (立川駅)	相談 体験 講座 有料(無料あり) 15~30歳代 ※相談	●	ワイワイ コッコッ	週1~5日 期間制限なし	自由に選択 きっちり課程										
	アトシ・オンライン オンラインサポートプログラム	オンライン	相談 体験 講座 無料 15~29歳	●	ワイワイ コッコッ	週1~5日	自由に選択 きっちり課程										
	シャフト・プログラム 立川市職業能力開発支援事業	オンライン 東京都立川市	相談 体験 講座 無料 35~52歳 立川市	●	ワイワイ コッコッ	週1~5日	自由に選択 きっちり課程										
	ステッゴ・キャンコ	オンライン	相談 体験 講座 無料 15~30歳	●	ワイワイ コッコッ	週3日 1~3カ月	自由に選択 きっちり課程										
	ワークスタート!	東京都千代田区 (飯田橋駅)	相談 体験 講座 無料 16~34歳代	●	ワイワイ コッコッ	週5日 7週間限定	自由に選択 きっちり課程										
	サポステ 地域若者サポートステーション	立川市(立川駅) 調布市(南調布駅) *オンラインもあり	相談 体験 講座 無料 15~30歳代 40歳代も可	●	ワイワイ コッコッ	月3回程度 おおむね半年~1年	自由に選択 きっちり課程										
若者の居場所づくり 若者の居場所づくり	ジョブトレ スレックス	東京都立川市 (立川駅) *オンラインもあり	相談 体験 講座 有料(無料あり) 15~30歳代	●	相談メイン	8回	自由に選択 きっちり課程	個々に応じたオーダーメイドのプログラム									
	シルミルテミル	オンライン 東京都立川市	相談 体験 講座 無料 15~おおむね30歳代	●	ワイワイ コッコッ	週2日 1.5カ月	自由に選択 きっちり課程										
	すぎトレ	東京都杉並区 (駅直結)	相談 体験 講座 無料 15~44歳 *杉並区外は30歳まで	●	ワイワイ コッコッ	最大週5日 6カ月(※相談)	自由に選択 きっちり課程										
	東フラ TUP	神奈川県横浜 (鶴見駅) *オンラインもあり	相談 居場所 講座 無料 15~30歳代 横浜市	●	ワイワイ コッコッ	週5日 期間制限なし	自由に選択 きっちり課程										
	フラットおおた	東京都大田区 (大森駅) *オンラインもあり	相談 体験 講座 無料 15~30歳代	●	ワイワイ コッコッ	週6日 期間制限なし	自由に選択 きっちり課程										
若者の居場所づくり 若者の居場所づくり	まなびタス	東京都立川市 (立川駅) *オンラインもあり	相談 体験 学習 有料(無料あり) 小4~高校生年代	●	ワイワイ コッコッ	週1~2回	自由に選択 きっちり課程										
	たちがわABC	東京都立川市 (立川駅) *オンラインもあり	相談 体験 学習 無料 進学/復学/高認取得をめざす 10歳代~20歳代	●	ワイワイ コッコッ	週1~2回	自由に選択 きっちり課程										

※実施内容は各支援メニューの案内ページでご確認ください。また、実施内容や実施時期は予告なく変更される場合があります。



みなさまへのお願い

☑ 周囲に伝えていただく

- └ 困っている若者、子どもたち、そのご家族が持つ情報、選択肢が限られています
- └ カフェ、居酒屋、SNSなどで、ぜひ情報の発信者になってください

☑ 現場に足を運んでください

- └ 社会課題は「知ること」から始まります
- └ 若者や子どもたちの領域に限らず、育て上げネットに限らず、ご関心のある現場に足を運んでみてください

☑ 余裕があればご支援ください

- └ 困っている若者や子どもたちを支えるために寄付を通じた応援者になってください
- └ いつか彼ら、彼女らは、社会課題の解決に取り組む担い手、それを支える応援者になります

チャリボン
古書の買取価格が寄付になります



育て上げネット

夜のユースセンター
500円で若者が夕食を食べれます



無料・食事ありのオープンスペースの運営を支援ください

法人活動を応援ください
さまざまな形での寄付が可能です



育て上げネット

少年院を出た少年を支援
月額1,000円のマンスリーサポート



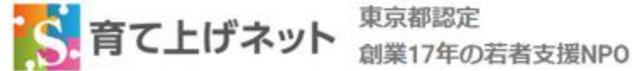
少年院を出院した子どもたちに寄り添い、更生自立を支え続けるプロジェクト

月額1,000円

寄付者の方々に支えていただき、活動しています

若者、子どもたちの「今」を、「未来」を寄付で応援してください

・ <https://fr.sodateage.net/wp/frlp/>



継続して寄付する

今回のみ寄付する

10年後の未来を守ることができるのは
「今」を支えることができる私たちです

子どものころの「できなかった」は取り戻すことができません。

小学3年生から49歳まで途切れることなく伴走する「育て上げネット」を応援してください